

ヨルダン溪谷における 占領政策と人権侵害

- ①多くの検問所を通じた厳しい移動制限
- ②水資源の収奪と利用制限
- ③ユダヤ人入植地の拡大・建設と土地収用
- ④家屋破壊および家屋の新築・修繕の禁止

①移動制限



2002年以降、「ヨルダン溪谷住民」であることを示すIDカードの所持者のみがヨルダン溪谷と他の西岸地区との通行を許されている



2006年3月以降、30歳以上の「ヨルダン溪谷住民」のみが検問所通過を許されるようになった。



西岸の他地区から来る季節農業労働者は
違法滞在とみなされる。



溪谷北部のバルダラ検問所では、農民や農作物のイスラエル市場へのアクセスを厳しく制限している。



ヨルダン溪谷のあちこちにパレスチナ人の移動
を妨げるための塹壕が掘られている

②水資源の収奪と 利用制限



1967年、イスラエルは162個の農業用井戸と国道90号線を隔離し、パレスチナ人による使用を禁じた。

↓ 入植者用の井戸

パレスチナ人の村



イスラエルの入植者用の井戸があちこちに作られているが、パレスチナ人の利用は禁じられている。



井戸の掘削を禁じられているパレスチナ人は
イスラエルから水を買わざるを得ない。



わずかに残されたパレスチナ人が利用できる水源が入植地の排水で汚染されているケースも多い。



水を多く使うかんきつ類の栽培は水を奪われているパレスチナ農民には無理だが、入植地では大規模に行われている。



入植者が植えた100万本のナツメ椰子



水不足でうまく育たなかったパレスチナの農作物

③ユダヤ人入植地の 拡大・建設と土地収用



ガザを撤退したユダヤ人の入植が計画されている
ヨルダン溪谷北部のマスキット入植地



壁によって奪われたバルダラ村の農地（壁の右側）

Settlement for one settler



In Mul Nivo, 4000 dunums were taken for one settler.

住民がたった一人の入植地のために
4平方kmの土地が収用された。

④家屋破壊および家屋 の新築・修繕の禁止



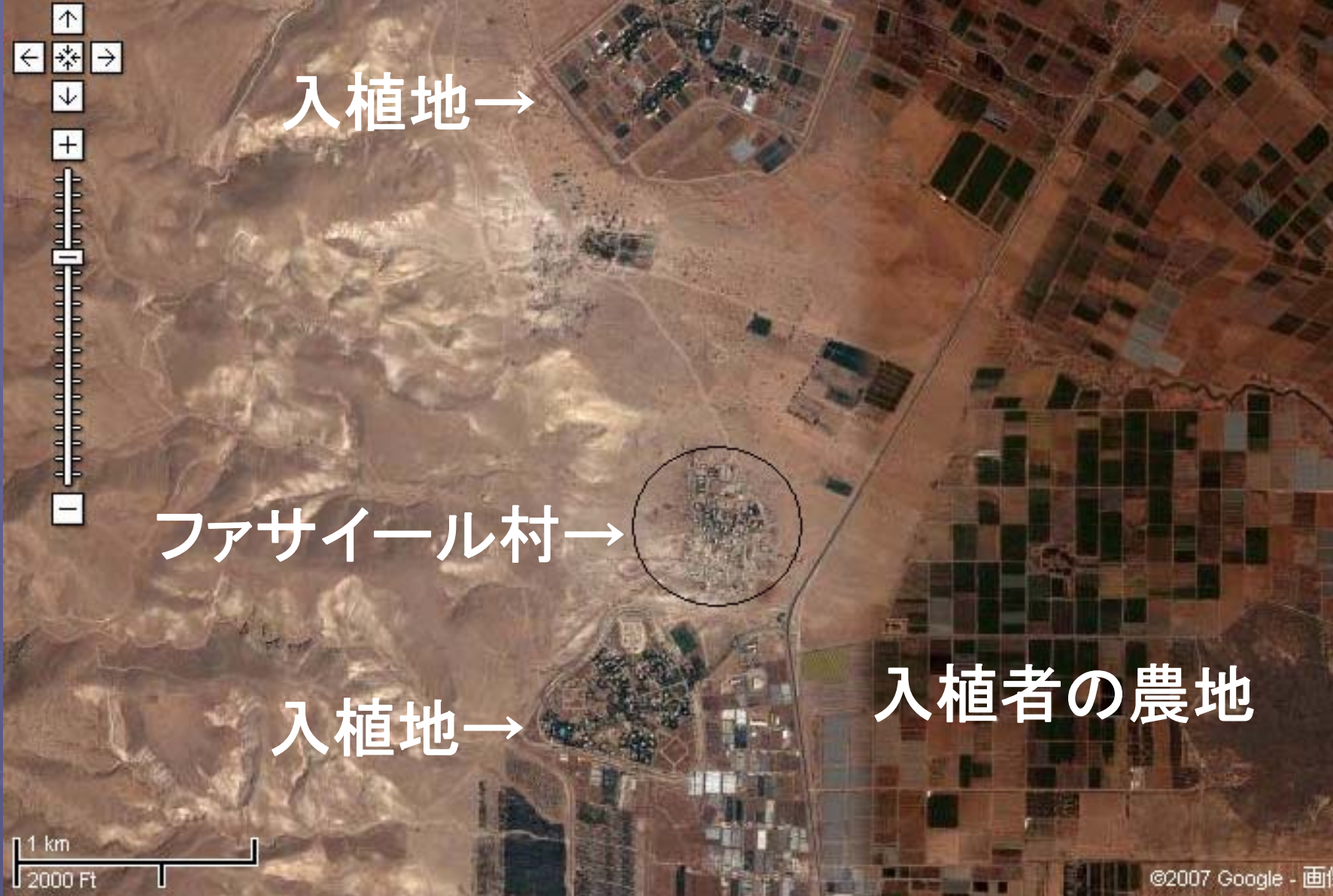
校舎の建築許可がでず、テントで授業を行う
ジフトリック村の学校



ジフトリック村の学校



テントで暮らすファサイール村の住民
すぐ後ろには緑茂るユダヤ人入植地



入植地→

ファサイール村→

入植地→

入植者の農地

入植地に囲まれているファサイール村の衛星写真



屋根の修復が許可されない家



家屋破壊命令を受けたファサイール村の住民



2005年だけでヨルダン溪谷地域では22戸の家屋がイスラエルによって破壊された。

イスラエルはヨルダン溪谷の平地部を完全に隔離し、住民を追い出し、残された土地を併合しようとしている。

…ムスタファ・バルグーティ、2007年6月11日
(パレスチナ自治政府情報相)